

今年も「歌津復興夏まつり」現地レポート!



we support!

RQ

災害教育センター

MONTHLY

復興支援『すけさきた』改め

「東北に黒龍を送ろう! 大作戦しんぶん」

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

AUGUST
11
2017

ユツンに添着したポストのご縁でつながる「歌津復興夏まつり」。昨年に続き、エコツアー協会から事務局の徳岡春美さん・信馬さん親子が西表バインとともに現地入り! 年々パワーアップする「まつり」の体験記を寄せていただきました。

2017.8.6 @『ハマレ歌津』特設会場

その後ステージでは、地元の中高生のバンド演奏やカラオケ大会、マドロス踊りなどが披露され、中盤では南三陸の厄介者! ミナサンジョーカーが登場し、ポストくんや仲間たちが封印されてしまうという事態に。謎解きゲームが始まり、会場の子供たちは、ポストくんに関する問題を解くべく会場内を行ったり来た



今年の歌津復興夏まつりは、今年4月に待望オープンした「ハマレ歌津」の特設会場で行われました。木の香りが漂う開放的な心地よい商店街で、長い間仮設の伊里前復興商店街でがんばってこられたみなさんの笑顔が、今年はさらに素敵に見えました。お祭り会場はたくさんのお店が出店していて、多くの人で賑わっていました。午前中のスポーツめんこ大会「デングリー」は、地元の子も、沖縄の子も混ざって大盛り上がり。12時からの「ゆいまゝるポストくんコンサート」は、恒例のポストくんパレードから始まりました。今年は伊里前小学校に続く坂の上からパレードが行きが登場。西表島に流れついたポストの実物を乗せた軽トラックにはウツサウルスやミニポストくんも乗り、その前後にはポストくん、ポストさんや子供たちが歩き、つじの紙吹雪が舞う、賑やかなパレード。会場からの「おっけり、ポストくん」のコールであたたく迎えられていました。

南三陸

↑新キャラクター「ミナサンジョーカー」この衣装、なぜか他人とは思えない!

↑大きな船のようなこのロゴマーク、実は「クジラにのったポスト」! 「いさとまゑ」という地名には、アイヌ語で「クジラの寄る浜」という意味があるのだそうです。五線譜の波は、昨年のポストくん西表公演でみなさんと一緒に歌った『歌津さ来てけさいん』の一節です。



一歩一歩前に進む町や町のみなさんを、これからも陰ながら応援していきたいですね。なによりも実行委員や、商店街のみなさんの笑顔に会いに、パワーをもらいにまた来年も行きたいな、と思わせるあなたがかっこいいお祭りです。

2017年8月 エコツアー事務局 徳岡春美(奇福)



今年も会場では、西表島産のパイナップルをバイン棒にしてみなさんにふるまいました。「これ、楽しみにしてたの〜」と商店街の方、「なにこれ! めっちゃうまい!」と地元の中学生、たくさん笑顔でいただきました。この一年で建物が増えるなど、周辺

り、とても楽しそうにチャレンジしていました。謎解きがされて、無事にポストくんが戻ってきたあとは、BEGINのライブがスタート。ステージ前ではたくさんの方が踊り、盛り上がりマックス。最後は「歌津さ来てけさいん」を大きな輪でみんなで楽しく踊りました。ステージの後は荘厳な魚竜太鼓、そして港から美しい花火が打ち上がりました。